

登録医ニュース

メタセコイア

第38号
2016.12

編集・発行/東北医科薬科大学病院 医療連携センター

〒983-8521 宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号 Tel(022)259-1221(代表)
Tel(022)388-9593(医療連携センター直通) Fax(0120)25-9121(医療連携センター直通)
Eメールrenkei@hosp.tohoku-mpu.ac.jp ホームページhttp://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp

メタセコイアに寄せて

東北医科薬科大学病院 副院長 耳鼻咽喉科科長 ^{おおた のぶお} 太田 伸男

今年のノーベル生理学・医学賞に東京工業大学の太田良典栄誉教授が決まりました。“オートファジー”と呼ばれる細胞内で役割を終えたタンパク質を掃除し、リサイクルするメカニズムを突き止めたことが高く評価されてのご受賞です。アルツハイマー病、パーキンソン病などの神経疾患や脂肪肝などの生活習慣病さらには癌などの様々な難病の創薬を含めた治療に資するご研究で今後のさらなる展開が期待されています。心から祝福申し上げたいと思います。

テレビや新聞を拝見いたしますと「人がやらぬことを自由に研究したい」というのが初心とうかがいました。研究室でひとり酵母を顕微鏡で観察していた時、多くの顆粒がピチピチ踊るように跳ね回っている現象を夢中になって長時間観察を続け、これがオートファジー現象そのものだとお気づきになられたそうです。“モナ・リザ”や“最後の晩餐”などの数々の名画を残したレオナルド・ダ・ヴィンチも徹底した肉体への厳しい洞察で知られ、自然な動作や表情が作品の真骨頂といわれております。ルネサンスの時代も現代も物の本質に迫る態度や手法に違いはないことに深い感銘を受けました。

医学研究といいますと、どうしても短期的に成果を出すことに目を向けがちですが、前のめりの野心的な知性だけが重要ではなく、ちょっと斜め向きに自由を求める知の働きによって開かれる学問の真理があることを太田先生のノーベル賞の受賞から強く印象づけられました。限られた競争的資金を最大限に活用し、日本の医学の基礎研究と臨床研究がさらに活発に展開され、その成果が世界に向けて発信されていくことを期待したいと思います。本学も100名のフレッシュな新入生を4月に迎え入れました。志を持つ若い人たちが自由な発想で研究できる環境を整え仙台から世界に向けて新しい情報を発信して参りたいと思います。

一方、“急激な少子高齢化”や“専門医制度”など医療を取り巻く環境も大きな曲がり角にさしかかっております。当院は地域の中核病院として最新かつ高度な医療の提供とこれまで以上に綿密な病診連携に取り組んで参りたいと考えております。今後とも登録医の先生方のニーズにお応えできる病院であることを目指して努力して参りたいと思いますので、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後に、日頃から東北医科薬科大学の診療・教育・研究にご協力頂いている皆様にお礼を申し上げるとともに、ご健勝を祈念申し上げます。

整形外科紹介



整形外科科長 おざわ ひろし
小澤 浩司

東北医科薬科大学医学部の新設に伴い4月から新たに3名の医師が赴任し6名の体制で診療を行っています。従来の関節疾患の治療に加えて脊椎疾患の治療に力をいれております。脊椎疾患に関しては、腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、頸椎症性脊髄症などの数が多い疾患のみならず、まれで難治性とされる脊椎脊髄腫瘍、成人脊柱変形など市中病院では治療が難しい疾患の治療にあたります。

これまで当科では関節リウマチの手術治療を積極的に行い、人工関節置換術に関し国内でも有数の施設でした。近年、生物製剤等が開発されリウマチ患者の病態が大きく変わりました。しばしばみられた股関節や膝関節の破壊が抑えられ、手、足などの小関節の破壊が目立つようになってきました。今後は股関節や膝関節に加えて、手、足の関節の診療を充実させていきます。

整形外科の患者の高齢化が進み、患者は多くの併存病を持っています。手術、周術期の管理にあたり、他科の協力がますます必要になっていきます。そのため市内の大きな病院では常に多くの手術待ちの患者がいます。当院には多くの科の専門医が揃っています。他科と協力して併存病のある高齢患者が適切なタイミングで手術を受けられるようにします。病院の理念である「忠恕の精神」(自分の良心に忠実に、深い思いやりを持って診療を行うこと)に則り、当科も地域医療のために力を尽くしますので、どうぞ今後ともよろしくお願いたします。

TOPICS

連携センターからのお知らせ

平成29年2月より電子カルテに変わります

そのため患者情報を登録しカルテを作成してから予約受診票をFAXにて送信いたしますので、お手数をおかけしますが同封いたしました当院の所定の様式をご使用になり予約申し込みをお願いいたします。

なお、整形外科の受診につきましては今までどおり完全予約制をとっておりますので、2月からの受診については患者さんからの直接予約ではなく、医療機関からの申し込みをお願いいたします。

紹介状は当院ホームページからもダウンロードが可能です。「医療機関の方」のところから「紹介状等書類」を選んでご使用下さい。



救急センターが誕生しました!!

新しく開設された救急センターをご紹介します



救急科科長 遠藤 智之

えんどう ともゆき 智之



左から 古川 勝敏 総合診療科科長、近藤 丘 病院長、高柳 元明 理事長
遠藤 智之 救急科科長、瀬戸 初江 看護局長

平成28年4月から新たに産声をあげた救急センターについてご紹介します。救急センターは、平日・夜間・休日を問わず救急車で搬送される患者さんから、ちょっと調子が悪くて困っている近隣の患者さんまで、あらゆる救急患者さんを診療するための病院にとって最も“ホット”な場所です。平日日中は、救急科医師と総合診療科医師で救急搬送された患者さんや転院患者さんの初期診療を行っています。

仙台市内における当院の救急医療機関としてのニーズは2次救急（集中治療室ほど

ではないけれども入院治療が必要な状態）ではありますが、しばしば3次救急相当（集中治療室での治療が必要）の重症患者さんも積極的に診療しています。夜間・休日は、内科系・外科系いずれも2次救急の患者さんを中心にできるだけ地域のニーズにお応えできるように診療しています。5月からは小児救急も少しずつではありますが受け入れています。

7月からは看護体制の変更もあり、これまで様々な部署の看護師さんのローテーションで成り立っていた救急外来でしたが、今は活気あふれる救急センター専属の看護師さん達が患者さんのケアにあたります。

救急科医師の赴任後、重症な救急患者さんを診療するのに必要な器具、装置、検査機器が充実し、一部の外因による重症患者（多発外傷や広範囲熱傷）以外であれば、十分に診療することができるようになっています。更に平成28年10月には新しい場所に移動して、拡充されたスペースでより多くの救急患者さんを受け入れております。

救急で病院を受診するということは、大変ストレスの大きいことではありますが、患者さんが少しでも安心して質の高い救急医療を受けることができるようにスタッフ全員が一丸となって頑張りますので、今後ともよろしくお願いいたします。



救急センター スタッフ



外来診療担当一覧表

平成28年12月1日現在



東北医科薬科大学病院

電話 022-259-1221(代表)

電話 022-388-9593(医療連携センター直通)

FAX 0120-25-9121(医療連携センター直通 FAX)

階	診療科	月	火	水	木	金		
1F	消化器内科	診察室④	再来 山本 毅	新患 山本 毅	再来 山本 毅	再来 米地 真	再来 山本 毅	
		診察室⑤	新患 支倉 翔太郎	再来 目黒 敬義	新患 目黒 敬義	新患 福士 大介	新患 米地 真	
		診察室⑥	新患 福士 大介	新患 松村 吉史	新患 近藤 史帆	新患 大方 智樹	新患 目黒 敬義	
		診察室⑦	新患 佐藤 倫紀	新患 支倉 翔太郎	新患 佐藤 倫紀	新患 佐藤 格	新患 高山 歳三	
	外科	新患 診察室①	岩指 元	柴田 近	向田 和明	小川 仁	児山 香	
		再来 診察室②	木村 俊一	向田 和明	岩指 元	児山 香	荒木 孝明	
	乳癌外来・内分泌外来	新患・再来	朴 英進	朴 英進	朴 英進	朴 英進	朴 英進	
		診察室②	新患 再来 海老名 雅仁	新患 阿部 達也	新患 大野 勲	新患 再来 海老名 雅仁	新患 小林 隆夫	
	呼吸器内科	診察室①		再来 海老名 雅仁	再来 小林 隆夫		再来 阿部 達也	
		新患・午後 診察室②		海老名 雅仁		海老名 雅仁		
	同質性肺炎・サルコイドーシス	診察室①	関 / 福家			関 雅文		
	感染症内科	診察室①	関 / 福家			関 雅文		
	呼吸器外科	新患・再来 診察室④	田畑 / 石橋	田畑 俊治	田畑 / 菅原	田畑 俊治	田畑 俊治	
	循環器内科	新患 診察室①	片平 美明	片平 美明	山家 実	山家 実	中野 / 山家	
		診察室②	門脇 心平	門脇 心平	長谷川 薫	長谷川 薫	菊田 寿	
		再来 診察室③	宮下 武彦	宮下 武彦	小丸 達也	中野 陽夫	関口 祐子	
	心血管外科	診察室④	三浦 誠				三浦 誠 / 渡辺 卓	
	血液・リウマチ科	新患	武田 朋樹	武田 朋樹	小寺 隆雄	岡 友美子	岡 友美子	
		再来 午前	小寺 隆雄	小寺 隆雄	竹下 美紀	武田 朋樹	小寺 隆雄	
		午後	小寺 隆雄	小寺 隆雄			小寺 隆雄	
		午前	岡 友美子	岡 友美子		岡 友美子	竹下 美紀	
		午後	岡 友美子	岡 友美子		岡 友美子	武田 朋樹	
	整形外科	新患	千葉 晋平		峯岸 英絵		第1,第3,第4 峯岸 / 千葉	
			小澤 浩司				第2 館田 聡	
		(専門外来)	<リウマチ>	<関節>	<骨粗鬆症>	<脊椎>		
			佐野 徳久	佐野 徳久	石塚 正人	小澤 浩司		
	糖尿病代謝内科	診察室①	新患 丹治 泰裕	再来 丹治 泰裕	新患 赤井 裕輝	再来 渡辺 太一	再来 赤井 / 三田	
		診察室②	再来 渡辺 太一	新患 平井 敏	再来 平井 敏	再来 赤井 裕輝	再来 平井 敏	
		診察室③	再来 善積 信介	再来 善積 信介	再来 丹治 泰裕	新患 善積 信介	新患 渡辺 太一	
	小児科		森本 哲司	藤井 喜充	藤井 喜充	森本 哲司	藤井 喜充	
	禁煙外来	隔週	佐川 元保					
	神経内科	新患	小林 理子	川口 典彦	渡辺 靖章	藤盛 寿一	石垣 あや	
		再来	<応援医師>	小林 理子	藤盛 寿一	石垣 / 川口	<応援医師>	
	リハビリテーション科	新患	室谷 嘉一					
		再来	室谷 嘉一	内海 由也	室谷 嘉一		室谷 / 菊池	
		リハビリ前診療	室谷 嘉一	内海 由也		内海 由也	菊池 大一	
	2F	耳鼻咽喉科		太田 伸男	隔週 粟田口 / 東海林	太田 伸男	東海林 史	粟田口 敏一
				粟田口 敏一	鈴木 貴博	粟田口 敏一	隔週 野口 / 角田	鈴木 貴博
				東海林 史	野口 直哉	野口 直哉	高橋 由紀子	角田 梨紗子
		放射線科		小山 周樹	小山 周樹	小山 周樹	小山 周樹	<応援医師>
歯科口腔外科	新患・再来	細谷 誠	細谷 誠	細谷 誠	細谷 誠	細谷 誠		
	口腔外科	篠原 文明	午後 宮下 仁	篠原 文明	篠原 文明	篠原 文明		
泌尿器科	新患・再来 午前	福崎 篤	<応援医師>	佐藤 信	<応援医師>			
	午後		大黒 祥光					
腎臓	午前	再来 矢花 郁子	新患 岩倉 芳倫	再来 森 建文	新患 森 建文	再来 佐藤 真一		
	午後	再来 矢花 郁子	再来 岩倉 芳倫	再来 森 建文	再来 森 建文			
		再来 岩倉 芳倫	再来 岩倉 / 目時		再来 森 建文	第2 岩倉 芳倫		
皮膚科	診察室①	岡 昌宏	坂口 正展	岡 昌宏		坂口 正展		
	診察室②	高橋 秀肇	西郷 陽子	多田 麻子	高橋 秀肇	西郷 / 多田		
眼科	診察室①	高橋 秀肇	西郷 陽子	多田 麻子	多田 麻子	高橋 秀肇		
	診察室②	西郷 陽子	多田 麻子	多田 麻子	高橋 秀肇	西郷 / 多田		
	精神科	診察室①(午前)	鈴木 映二	吉村 淳	鈴木 映二	工藤 耕太郎	吉村 淳	
*→特殊外来	(午後)	* 鈴木 映二	吉村 淳	* 鈴木 映二	工藤 耕太郎	吉村 淳		
	診察室②(午前)		中川 誠秀	中川 誠秀	吉村 淳	工藤 耕太郎		
	(午後)		* 中川 誠秀	中川 誠秀	吉村 淳	工藤 耕太郎		
腫瘍内科		木場 崇剛	木場 崇剛	木場 崇剛	木場 / 三田地	木場 崇剛		
救急科		遠藤 / 住友・大原	外科 / 住友・大原	遠藤 / 住友・大原	遠藤 / 住友・大原	遠藤 / 住友・大原		
総合診療科		古川 勝敏	住友 / 人見	大原 貴裕	住友 / 人見	宮澤 イザベル		
産婦人科	初診	深谷 孝夫	渡部 洋	深谷 孝夫	中西 透	喜多川 亮		
	再診	喜多川 亮	中西 透	喜多川 亮	深谷 孝夫	深谷 孝夫		
	13時~15時 再診	喜多川 亮	喜多川 亮		中西 透			
もの忘れ外来	新患	第1,第3,第4 里ハ科担当医		第1,第3,第4 総合診療科担当医				
		第2 神経内科担当医		第2 精神科担当医				

※都合により担当医師が変更している場合があります。